

令和7年度 学校評価報告書 **(目標設定・実施結果)**

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	(1) 単位制の利点をいかした年次進行制の教育課程に基づき、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育活動を展開する。 (2) 学習意欲を高め、自ら考え、表現する力を育む。 (3) 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力の育成を図る。	(1) 新しい教育課程の理念を踏まえ、授業の量的確保を前提とした「単位制の利点」との整合性を図る教科指導体制を実現する。 (2) ICT 機器や学習コンテンツ等を利活用することで、生徒が主体的に学べる環境を構築するとともに、わかりやすい授業を実践する。	(1) 新しい教育課程の理念に基づき、主体的・意欲的姿勢で学習に取り組むことができる教育活動を展開する。 (2) 生徒の学習意欲を高め、「わかる授業」を実現するために、ICT 機器やスタディサプリを活用し、組織的に実践研究を進める。	(1) 生徒一人ひとりにあつた卒業に向けての単位修得への教育活動ができたか。 (2) 生徒の学習意欲を高めることができ、生徒による授業評価の質問4「授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた」の肯定的回答の割合が 90%以上になったか。					
2	生徒指導・支援	(1) 生徒の規範意識を育成し、社会や集団の一員であるという自覚を持たせる。 (2) 学校生活への積極的な参加を通じ、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。 (3) 教育相談・支援体制の整備に努め、生徒一人ひとりの豊かな学校生活を支援する。	(1) 期待される行動を取ろうとしたり、マナーを守ろうとしたりする感性を醸成するとともに、他者を思いやり、違いを認める心や態度を育む。 (2) 職員室の入退室の際のあいさつや服装、言葉遣いを正し、生徒との関係性を深められるようにする。	(1) 時間とルールを守ることを主眼に「授業規律」「生徒心得」等を守れるよう、全職員で一丸となり、適切な声掛け指導や支援を行う。 (2) 教職員と生徒が学校内で互いにあいさつを行うようにし、豊かな人間性やコミュニケーション能力を向上させる。	(1) 「授業規律」等のルールが守られているか。他者を思いやる行動が取れているか。欠席数、遅刻数、指導件数は減っているか。 (2) 職員室に入室する生徒へのあいさつや言葉遣いの指導の回数が減るなど、生徒とのコミュニケーションを密にとることができたか。					
3	進路指導・支援	(1) 生徒が自ら将来像を描き、主体的に生涯を生きる姿勢を育てる。 (2) 生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、多様な進路希望の実現を支援する。	(1) 「総合的な探究の時間」の授業展開を通じて、変化する社会で生き抜く人材の育成を進め、進路指導へ反映させていく。 (2) 自分の可能性を信じてチャレンジする力を育成するとともに、それを支える教員の進路指導力の向上を図る。	(1) 「総合的な探究の時間」において、分野別説明会、ハローワークによる講演会等により自分自身の職業観を促す。 (2) 進路希望調査、進路ガイダンス、講演会等を計画的に実施し、組織的な進路指導に取り組み、生徒の将来設計の立案を促す。	(1) スタディサプリテストや総合の時間を利用した様々な説明会、講演会を計画的に実施して、生徒の主体的な進路決定や職業観の確立等に積極的に取り組めたか。 (2) 希望調査、ガイダンス、講演会等を計画的に実施し、組織的な進路支援を行うことで、進路先未定の生徒数を昨年度より減少させることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	(1)家庭や地域との連携によりパートナーとして愛され、支持を得られる学校づくりを推進する。	(1)教育活動についての情報発信の充実を図り、家庭や地域により一層の理解と協力を求める。	(1)Web ページ、メール配信、公式X 等を通し、教育活動の情報を発信（最低月1回は配信）し、家庭や地域に学校への理解を深めてもらう。	(1)適時に情報発信を月1回以上配信することができたか。					
5	学校管理 学校運営	(1)生徒が安全で、安心でき、居心地の良い学校生活を送ることができる学校づくりに取り組む。 (2)一層の組織的な学校運営と業務の効率化を図る。 (3)教員のワークライフバランスを推進するために、働き方改革を推進する。	(1)日々の清掃活動及び防災教育・防災活動に取り組み、生徒が心地よく安心して生活できる環境を確立する。 (2)一層の組織的な学校運営と業務の効率化を図るとともに、生徒・保護者・教員が共に活動する。	(1)平日の清掃活動を拡充し、大掃除を縮小するとともに、安全点検表の活用、危機管理マニュアルの修正、市の防災対策課と連携した防災教育を行う。 (2)既存の学校行事等とPTA活動等を重ねたり、ICTを利用したりすることにより業務の効率化と生徒・保護者・教員の良好な関係性を目指す。また、成績処理業務及び入学者選抜業務の要項および研修会を充実したものにできたか。	(1)平日の清掃活動日を増やし、環境整備を行うことができたか。また、校内の安全点検、危機管理マニュアルの修正、全年次合同の避難訓練・防災教育を適切に実施することができたか。 (2)保護者や地域と連携する学校行事において新しい発想や企画をもって組織的に業務の効率化を図れたか。また、成績処理業務の改善及び入学者選抜業務の要項および研修会を充実したものにできたか。					